

2003 年度卒業 ミルズ美亜(旧姓:川嶋)

私は卒部はしておりませんが、「あの黄金の代の先輩ですね」と言われたことがあります(笑)
4年次の新歓を見届けた後に「退部」した立場ですので、現役生の練習会にも顔も出したことがなければ、おとしの春の六大学戦を立教同期と法政同期の友達と一緒に観に行くまで、舞研とはいっさい関わりは持ちませんでした。その六大学戦の場で久々に先輩方と再会し、恐れ多くも今回赤れんが通信に寄稿させていただく機会をいただきました。しばし戯言にお付き合いくださいませ。

さて、退部した後ですが、それまでダンスで費やした時間を埋めるように、別のサークルに入ったり、3年間ダンスでサボった授業の残りの単位を必死に取り、なんとかギリギリで卒業しましたが、なんだか常に寂しさの中にいた気がします。

卒業後は、東電の原子力設計部でアメリカから購入した原子力タービンの説明書の翻訳をさせていただき、東日本大震災直前に離職しました。福島に出張に行ったきり、戻ってこれなかった上司や、精神的に鬱になってしまった当時の仲間たちの苦悩や悲しみを思い出すと今でも胸が痛みます。長女が1歳でした。そんな長女も来年中学生、次女は小学3年生になります。次女が幼稚園に通うようになってから、ようやく自分の時間ができ、近所でタヒチアンダンスを習い始めましたが、半年ほどたって、群舞の中で皆と揃えて踊ることになんとなく満足感を得られなくなり、タヒチアンダンスを辞め、数日後には学連時代に習っていた岩倉守孝先生に会いに赤坂見附のスタジオに会いにいきました。

幕張から赤坂見附までの距離では、なかなかダンス再開は難しいと思っていましたが、岩倉先生のご協力も頂戴し、なんとか始めてみることにしました。実に18年ぶりのラテンでした。

慣れてくると、次女をそのまま午後6時までの保育コースに預けることにして、本格的に週2、3回レッスンに行くようになり今に至り4年目になります。その間に、プロアマ戦で2連覇もさせていただき、デモも何度か出させていただいています。

去年と今年は学連OBOG戦に岩倉先生と出場予定でしたが、コロナ禍で残念ながら中止となってしまいましたが、来年こそは！と意気込んでいます。岩倉ダンススクールには、去年の暮れから2011年卒の宮内先生も勤務されており、週に2回は顔を合わせる仲です(笑)

立教卒でアマチュアで活躍されている生徒さんも数人通われています。

よく「学連の時に教えたはずだよー！」と同じことで何度も怒られてばかりの物覚えの悪い生徒ですが、踊れることに毎日生き甲斐を感じています。今は9月の10周年に向けて、40過ぎの硬い身体に鞭打ちながらマイケルジャクソンの曲に合わせてチャチャチャ、サンバ、ルンバ、ジャイブの4種目メドレーを目下特訓中です。

こんなご時世ですが、そう遠くない未来に、マスクを付けずにフルメイク装備でおもいきり踊れるようになることを切に願うばかりです。

舞研OBOG、現役皆様のご活躍と健康を願い、これにて失礼いたします。